

2022年度

学校関係者評価委員評価

2023年3月31日

IGL医療福祉専門学校

2022年度 学校関係者評価委員評価シート（年度末評価）

評価項目		評価	理由・意見
(1) 教育理念・目的・育人人材	目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたるコロナ禍の中でPCやICT機器を積極的に用いて授業を行えるような環境を整え、教職員も共に学びながら全学科が概ね100%オンライン授業を実践できている。 ・主体性を養うアクティブラーニングの手法を取り入れ、学生と教員の双方向的な授業によって自ら学び続ける姿勢を育成している。中途離脱者については目標値を若干割っているが、学生支援に積極的に力を傾注している。 ・パソコンやICTの活用による強化や専任教務体制も適格であり国家試験の合格率も向上し、学生支援も的確である ・行動計画で具体的に示されており、目標に対する指標も数値目標で設定されているので、達成度が把握しやすい。
(2) 学校運営			
(3) 教育活動	計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全学科を通じて進学・就職等の学生個人のニーズに合った指導体制を築き、入学時からキャリア支援に力を入れている。実績値については明らかではないが、特に現コロナ禍における学生への支援については、それらの体制を形にしていることが評価できる。 ・ICT教育の充実に向けての取り組みは、今の学生に対するニーズに適していると考えられる。 ・就職支援や希望進路の体制も良い ・行動計画に具体的に明記され分かりやすい。
(4) 学習成果			
(5) 学生支援	目標達成に向けた取り組みの適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を図るために保護者会を企画したり、地域貢献活動の1つとしてボランティア活動を模索したりするなど積極的なステークホルダーへの働きかけを行っていたが、コロナ禍により成果には結びつけられなかった。しかし、卒業後の就職にも関連づけられる企業や団体との研修を踏まえた交流活動は実績を残した。また、ICT機器を学生にも1人1台行き渡らせ、教員間や組織間、あるいは学生間の情報共有ツールによって、先のアクティブラーニングに結びつけるなど成果は上がっている。 ・国家試験新卒合格率の向上に対しては教員が積極的に取り組んでいると評価される。 ・この3年間はコロナ禍でもあり他団体との交流やボランティア活動も難しく思われる
(6) 教育環境	評価結果の分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスを精力的に行い、ホームページを最新にアップデートしながらアクセス数を向上させたり、卒業生や社会人入学者にも協力してもらいながら動画配信に努めるなど様々な手法を試みている。しかし、定員充足にまでは至らない。日本語学科は好調である。 ・入学定員の確保・募集の強化等々、取り組みは多岐にわたるが結果としてまだ現れていない。 ・この欄は歯科衛生士として意見を述べさせて頂き、授業ひとつにしても教務体制が不足していると思います ・実績が出ていないものに対しては適切に評価されている。
(7) 学生の受け入れ募集			
(8) 財務	今後の改善方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学科の定員増を図り、積極的な外国人の導入を検討している。即ち、これからますます拍車がかかる少子化に伴った学生急減に見合った方策を講じている。今後は、日本語学科から他学科への進学を促すラダーの構築も検討している。 ・各学科がガイダンスの拡充や他団体と連携し新入生募集の尽力がうかがわれる
(9) 法令等の遵守	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたるコロナ禍で、ICT機器を活用してオンラインで授業を受けることができる環境を整備し、学生1人に1台ずつ端末を用意するなど積極的に学生指導が行え、個人個人への相談支援体制を整えている。また、学生募集に際してもHPの最新化や動画配信等の現段階で執りうる活動をすべて着手するなど、できることを着実に履行していると思われる。積極的な外国人学生の導入も、これからますます拍車がかかる少子化に伴った学生急減に見合った方策である。グループウェアによる情報共有も効果的。 ・今後の様々な問題（経済・少子化・社会保障など）に迅速な対応が必要と思われまますので、このような改善は必要です。 ・教育の環境整備並びに新型コロナウイルス感染症の対策等、総合的に評価される取り組みも実践されている。 ・働き方改革の実施・体制は良く、コロナ対策も万端である ・アクティブラーニング手法を取り入れた授業や、ICT教育など、新たな学びに対して積極的な取り組みが素晴らしい。特にフリー・マンデー制度は、学びの幅を広げる意味で大変に興味深い。非常に丁寧な評価をされているので、是非とも参考にしたい。
(10) 社会貢献・地域貢献			